GPS 安全性要約書整理番号 IN108407G-SS01

FUJIFILM

GPS/JIPS 安全性要約書

物質名 （SUBSTANCE NAME）

亜硫酸カリウム(Potassium sulfite, CAS No.10117-38-1)および炭酸カリウム(Potassium carbonate, CAS No.584-08-7)を主成分とする混合物（製品名：ND-1SII）

物質の概要 （GENERAL STATEMENT）

本混合物は、製版フィルム用の顆粒タイプ現像剤として使用される、淡褐色の固体です。専門業者により、適切な設備と保護具の使用のもと取り扱われ、また、廃棄では、適切な排水処理や産業廃棄物としての処理が行われることが必要です。

化学的特性 （CHEMICAL IDENTITY）

組成

名称	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
亜硫酸カリウム	10117-38-1	1-453	(1)-453	20 - 40
炭酸カリウム	584-08-7	1-153	(1)-153	20 - 40
亜硫酸ナトリウム	7757-83-7	1-502	(1)-502	15 - 30
ヒドロキノン【PRTR1：336号、安衛通知】	123-31-9	3-543	(3)-543	16
水酸化ナトリウム【安衛通知】	1310-73-2	1-410	(1)-410 (2)-1972	3 - 7
臭化カリウム	7758-02-3	1-108	(1)-108	1 - 5
イソアスコルビン酸ナトリウム	6381-77-7	9-132	(9)-132	1 - 5
水	7732-18-5	ー	ー	0.5 - 1.5

原則として1%以上含有する成分を記載しています。
化学物質名称の後の【 】に以下の情報を記載しています（記載のない場合は非該当です）。
「PRTR 特1」：化学物質管理促進法 特定第一種指定化学物質
「PRTR 1」：同法 第一種指定化学物質
「PRTR 2」：同法 第二種指定化学物質
「安衛通知」：労働安全衛生法の通知対象物
尚、化学物質管理促進法に該当する場合、同法別表中の政令番号を併記しています。

使用・用途と適用 (USE AND APPLICATION)

インテグラシステムの顆粒タイプの現像剤です。顆粒タイプ溶解補充装置である FG-MX/FG-ML とセットで使用します。

物理化学的特性 (PHISICAL/CHEMICAL PROPERTIES)

項目	内容
外観	固体
色	淡褐色
臭い	ほぼ無臭
pH	該当せず。
融点・凝固点	該当せず。
沸点、初留点と沸騰範囲	該当せず。
引火点	適用対象外
自然発火温度(発火点)	この製品に燃焼性はない。
燃焼又は爆発範囲ー下限	該当せず。
燃焼又は爆発範囲ー上限	該当せず。
蒸気圧	該当せず。
蒸気密度	該当せず。
比重(相対密度)	該当せず。
溶解度(対水)	易溶
n-オクタノール／水分配係数	データなし。
分解温度	データなし。
粘度	該当せず(固体のため適用外)。
安定性	通常の条件では安定。
危険有害反応可能性	強酸と混合すると有害な亜硫酸ガスが発生する懸念がある。
避けるべき条件	凍結、直射日光を避ける。
混触危険物質	強酸
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、炭酸ガス、硫黄酸化物(亜硫酸ガス等)、臭素
その他情報	金属を腐食する(金属腐食性物質 GHS 区分1)。

.ヒト健康影響 (HEALTH EFFECTS)

影響評価	結果(GHS※1 危険有害性分類)
急性毒性(経口)	区分4
皮膚腐食性/刺激性	区分1B
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	強い眼刺激(区分2)
皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(区分1)
生殖細胞変異原性	遺伝的障害を引き起こす疑いがある(区分2)
発がん性	発がんのおそれの疑い(区分2)

※1 GHS（Globally Harmonized System of Classification and Labeling of Chemicals）：世界的に調和されたルールに従い、化学品を危険有害性の種類と程度により分類するシステムです。
※2 区分は数字の小さいほど危険/有害性が高いことを表します。尚、区分外とは分類を行うのに十分な情報が得られているが、GHS 規定の最も低い危険有害性区分より更に低い危険有害性と考えられます。
※3 表に記載がない危険有害性は、「分類対象外」または「分類できない」です。

環境影響 (ENVIRONMENTAL EFFECTS)

情報なし

曝露 (EXPOSURE)

詳細	当社製品の主な用途における曝露の可能性
作業者曝露（専門業者）	本製品は、専門業者が取り扱いますが、保護具を着用しているため、本製品に曝露する可能性はほとんどありません。
消費者曝露	本製品は、一般消費者にて使用されることはありません。
環境曝露	本製品を取り扱う専門業者は、自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上、産業廃棄物処理業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を添えて処理を委託しているため、環境中に排出されることはありません。

推奨するリスク管理措置 (RISK MANAGEMENT RECOMMENDATIONS)

詳細	当社リスク評価結果に基づく推奨するリスク管理措置
対作業者曝露（専門業者）	**設備対策**
	・換気を十分に行います。 ・近くに水道および洗眼設備を設置します。
	保護具
	・呼吸器の保護具：適切な呼吸用保護具を着用します。 ・手の保護具：適切な手袋を着用します。 ・目の保護具：眼の保護具を使用します。飛散のリスクがある場合はフェースシールドを着用します。 ・皮膚及び身体の保護具：適切な保護衣を着用します。 ・適切な衛生対策：眼に入れないようにします。本物質を皮膚に接触させないようにします。本物質を衣服に接触させないようにします。使用中は飲食や喫煙をしないようにします。休憩前や製品取扱い直後には、手を洗います。飲食物から遠ざけます。汚染された作業衣は作業場から出さないようにします。適切な産業衛生及び安全対策のもとに取り扱うようにします。
対消費者曝露	本製品は、一般消費者にて使用されることはありません。

対環境曝露	本製品を取り扱う専門業者は、自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上、産業廃棄物処理業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて処理を委託することが必要です。
漏出時の措置	**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**
	作業の際には適切な保護具を着用します(対作業者曝露の欄参照)。
	環境に対する注意事項
	製品が河川等に排出されないように注意します。
	封じ込め及び浄化の方法・機材
	物的被害を防止するために流出したものを吸収します。こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に移し、廃棄します。粉塵の生成を避けます。製品回収後、その付近を水で洗い流します。
その他の注意事項	取扱い、緊急時対応、廃棄時、輸送時の管理措置は、MSDSの4、5、6、7、8、13、14項も参照して下さい。

法規制情報/分類・ラベル情報 (REGULATORY INFORMATION/ CLASSIFICATION AND LABELLING INFORMATION)

法規制情報(該当するもののみ記載。MSDS の 15 項参照)

法律	規制状況
製品	船舶安全法: その他の腐食性物質(クラス8)
製品	航空法: その他の腐食性物質(クラス8)
ヒドロキノン	化審法: 旧第二種監視化学物質 労働安全衛生法: 通知対象物質(No.461) 化学物質管理促進法(PRTR法): 第一種指定化学物質(PRTR1:336号)
水酸化ナトリウム	労働安全衛生法: 通知対象物質(No.319)

GHS 分類情報

ハザード項目	分類結果
金属腐食性物質	区分 1
急性毒性 (経口)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分 1B
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	区分 2

ラベル情報

絵表示又はシンボル	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	金属腐食のおそれ（区分 1） 飲み込むと有害（経口）（区分 4） 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷（区分 1B） 強い眼刺激 （区分 2） アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(区分 1) 遺伝的障害を引き起こす疑いがある(区分 2) 発がんのおそれの疑い(区分 2)
注意書き	【安全対策】 ・使用前に取扱説明書を入手すること。 ・すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 ・他の容器に移し替えないこと。 ・指定された個人用保護具を使用すること。 ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡／保護面を着用すること。 ・この製品を使用する前に、飲食または喫煙をしないこと。 ・取扱い後は手をよく洗うこと。 ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 【応急措置】 ・物的被害を防止するために流出したものを吸収すること。 ・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。 ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪いときは、医師に連絡すること。 ・皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ただちに医師に連絡すること。 ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。 【保管】 ・堅い内張りのある防腐容器に保存する。 【廃棄】 ・内容物/容器を現地/地域/国/国際法律に従って処理する。

連絡先 (CONTACT INFORMATION WITHIN COMPANY)

会社名　富士フイルム株式会社
住所　〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3
担当部門　グラフィックシステム事業部
電話番号/ファックス番号　03-6271-3027/03-6271-3156

発行・改訂日(DATE OF ISSUE/REVISIN) その他の情報(ADDITIONAL INFORMATION)

初版: 2012年8月9日 発行
特記事項: より詳しい情報については、弊社ホームページ(http://www.fujifilm.co.jp/msds)に掲載されている最新版の製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。

免責条項 (DISCLAIMER)

安全性要約書は、化学産業界の自主的化学物質管理の取組み(GPS/JIPS=Japan Initiative of Product Stewardship)の一環として作成されたものです。安全性要約書の目的は、対象物質・製品に対する安全な取扱いに関する概要を提供することであり、リスク評価のプロセス及びヒト健康や環境への影響などの専門的な情報を詳しく提供するものではありません。また、製品安全性データシート(MSDS)に代わる文書として作成されたものではありません。

記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価について、いかなる保証(完全性の保証を含む)をなすものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。注意事項は当製品についての通常の取り扱いを対象にしたものであって、それ以外については、ご使用者の責任において安全対策を実施の上お取り扱い願います。